

事 務 連 絡
平 成 2 7 年 1 2 月 1 7 日

国立大学法人京都大学 御中

文 部 科 学 省
研究開発局研究開発戦略官
(新型炉・原子力人材育成担当)付

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」を御参照願います。

課題名	「被ばくの瞬間から生涯」を見渡す放射線生物・医学の学際教育
実施機関	国立大学法人京都大学
実施期間	平成24年度～平成26年度

【評価結果】

A	計画以上の優れた成果があげられた
---	------------------

【審査評価委員会所見】

＜推奨意見＞

●大学及び研究機関との連携の下に、「放射線生物学へのイザナイ」をはじめとした生物・医学領域の教育プログラムを開発するとともに、その運営については、参加者からの問題提起を受けた議論の機会を追加する等、柔軟に実施された点が高く評価できる。その結果、多くの学生や若手研究者に学びの機会を提供するとともに、本事業が当該専門分野への進学の動機づけに繋がっていると見受けられる点も評価できる。

●教育プログラムで作成した教材が、中高生向けの特別授業や既存の大学講義へ利用される等、事業成果が積極的に活用されている点も高く評価できる。

＜今後への参考意見＞

●本事業で開発した教材が多くの場で活用できるよう、事業成果の積極的な公開に努めていただくとともに、本事業で培われたネットワークを活かしながら事業の継続的な実施に努めていただきたい。また、受講証の発行や教育プログラムの単位化、国際シンポジウムでの発表等、参加者のインセンティブを高める取り組みを導入することにより、参加者一人あたりの受講回数の増加や参加者の広がり等、本事業の活性化が図られるように努めていただきたい。